

日時：平成 22 年 10 月 20 日 18:30～21:00

場所：J X ホールディングス六本木クラブ

参加者（役職名敬称略）町田、永田、湯浅、小谷、土居、鈴木、長谷川、香坂、八尾、真壁、内田、小嶋、品田、神島、青木、相澤、腰高、古川、坂上、志田、松尾、計 21 名

#### 【報告事項】

##### 1. エリアネットワーク（永田）

東海、東北北海道、甲信越北陸地区は終了。今後は関西、九州地区で開催。記念撮影のときに楽籠の旗を利用させてもらっている。

##### 2. SO 関係（小谷・竹内）

11 月に全国大会。関西地区のエリアネットワーク会合でこの大会を見学する。

##### 3. 現役担当（青木）

秋の連盟戦は現在 0 勝 1 敗。4 年生は就職先が無事決定。法科大学院合格者も。

#### 【協議事項】

##### 1. 55 周年イベント報告・総括（湯浅）

- ・2010 年 2 月頃より実行委員の活動開始。予備会議含め、計 4 回の会議を経て実施。
- ・総会でイベント予算として特別会計から 30 万円の支出が承認されたが、当日の参加者が多く、また多くの差し入れや協力もあり、会費収入ですべての費用を賄えることになった（会費などの収入 96 万 6 千円に対し、支出が約 94 万円）。30 万円については特別会計では未使用となる。

##### 2. 「川先伝」の扱いについて（神島）

- ・イベント後に残部を確認したら、290 部しかなかった。会員全員に配布できないが、どのように対処するか、また、イベント当日に有料で購入した人もいるが、配布は無償にするか、さらに、現役には配布するか、などについて討議した。
- ・「原則として無償で（会報送付時に）配布する」「まずは各代幹事が欲しい人が何人いるか調査する」「現役には各代 1 冊ずつは渡るようにする」「管理責任者をしっかり決める」などの意見が出た。今後、事務局で残部を正確に把握した上で、希望の確認方法や配布手法について提示し、実行する。

##### 3. 事務局より（古川・腰高）

- ・会計担当者が 34 期大川から 45 期志田・松尾に交代。2 人より就任の挨拶。
- ・楽籠大会の懇親会に若手が来ない、「OB 現役の接点」という役目を果たせていない、といった現状を打開するため、次回の楽籠大会で以下のような措置をとりたい。

- ①40 期代、30 期代を中心に、昼の部と夜の部のセット参加を呼び掛ける。
- ②OB 個々人のスピーチは少なくし、OB・現役が個別に懇談できる時間帯を増やす。  
(当日の状況を見て、腰高議長の裁量で臨機応変に対応する)

4. 今年度の会費納入状況 (志田・松尾)

- ・請求対象者 348 名に対し、納入者 284 名。海外在住者などを除いた実質の納入率は 84.3%。各代幹事には、引き続き同期の納入状況を把握と声かけをお願いする。

5. その他 (古川)

- ・来年 3 月の総会は、3/26(土)16 時より、三田倶楽部にての方向で調整する。

以 上